

ヨド物置 エルモ シャッター

単棟・連棟型〈土間タイプ〉組立説明書 LOD (U)・1811HD型・1815HD型

このたびは「ヨド物置」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずご確認ください。
また「取扱説明書」「保証書」は大切な書類ですので、施工完了後、必ずお客様へお渡しください。
※この組立説明書は1815HD×2連棟の図を基準にしていますが、単棟・3連棟以上の場合、または機種が1811の場合も組立手順は同じです。よくご確認の上、組立を行ってください。(組立は専門業者に依頼ください。)

●設置場所の制限

△注意

1. 建物の屋上には設置しないでください。
2. パルコ等一時の避難場所にある場所には設置しないでください。
3. 大風等からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
4. 崖のみち風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
5. 給排水の配管には設置しないでください。

●施工前の注意点

△注意

1. ブロック等の基礎は絶対におやめください。強度確保のため、鉄筋入りの布基礎としてください。
2. 部材は、全て開梱です。手を切らないようくれぐれもご注意ください。
3. 重い部材、柱の組立や接合の際は2名以上で行ってください。
4. 組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
5. 風の強い日の雨の日は、組立作業を避けてください。
6. 高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。

鍵は、シャッタースラットの裏面に貼り付けてあります。

- 施工時の注意点
1. まず御注文通りの商品かどうかを梱包組合せ表・梱包内容表にて確認してください。
 2. 部材の共通化のために、実際には使用しない孔の空いている部材がありますので、説明書に従って組立てください。
 3. 部材名称の左・右は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
 - ※シャッターの部材名称は室内側から見ての左右となりますので間違えないように取付けてください。
 4. 部材の組立は、ボルトの孔に合わせて組立てください。ボルト孔が合わない場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。
 5. 組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。
 6. シャッター部材の取付けについては各工程に注意事項を記載しておりますので、よくお読みの上、組立を行ってください。
- 組立に必要なもの(事前にご準備ください。)
- ・軍手・水準器・脚立・M6・M8ボルト・アンカーボルト・締結用のスパナ又はモンキー・ペンチ等工具・サゲフリ・サンダー等切断工具・アンカーボルトW1/2×210L、ナット×2、ワッシャー(オプション)の設定もご用意します。

- 使用ビス一覧(各工程の使用ボルト数に特に記載がない場合は、M6×15(白)を使用します。※付くものは標準機のみ使用します。)

※[5] 中柱前高さ調整時

※[22] SHレール補強金具取付け時

※[6] 上枠中の組立時

※[6] 上枠中の組立時と[16] プラケットの取付け時

[7] 上枠前補強取付け時(豪雪型のみ)

[17] シャフトの取付け時

[16] 前板取付け時

梱包組合せ表	
機種	1811型
部 品	単棟用 追加機用
上枠前後	一般 L05-0204 L05-0204 L05-0137 L05-6137
豪雪型	L05-0224 L05-0224 L05-0224 L05-0224
下枠前後	一般 L05-0274 L05-0274 L05-0274 L05-0274
豪雪型	L05-0302 L05-6302 L05-0303 L05-6303
上枠中	一般 L05-0372 L05-0372 L05-0372 L05-0372
豪雪型	L05-0431 L05-6431 L05-0431 L05-6431
中柱	一般型 L05-1467 L05-1467 L05-1468 L05-1468
豪雪型	L05-1467 L05-1467 L05-1468 L05-1468
脚立	一般型 L05-1104 L05-1104 L05-1104 L05-1104
豪雪型	L05-1104 L05-1104 L05-1104 L05-1104
補強	一般型 L05-K521 L05-K521 L05-K521 L05-K521
豪雪型	L05-4521 L05-4521 L05-4521 L05-4521

梱包内容表	
機種	1811型
部 品	単棟用 追加機用
上枠前後	一般 L05-0204 L05-0204 L05-0137 L05-6137
豪雪型	L05-0224 L05-0224 L05-0224 L05-0224
下枠前後	一般 L05-0274 L05-0274 L05-0274 L05-0274
豪雪型	L05-0302 L05-6302 L05-0303 L05-6303
上枠中	一般 L05-0372 L05-0372 L05-0372 L05-0372
豪雪型	L05-0431 L05-6431 L05-0431 L05-6431
中柱	一般型 L05-1467 L05-1467 L05-1468 L05-1468
豪雪型	L05-1467 L05-1467 L05-1468 L05-1468
脚立	一般型 L05-1104 L05-1104 L05-1104 L05-1104
豪雪型	L05-1104 L05-1104 L05-1104 L05-1104
補強	一般型 L05-K521 L05-K521 L05-K521 L05-K521
豪雪型	L05-4521 L05-4521 L05-4521 L05-4521

○部材名称にはA1.5、A2.0、A2.5等の長さを示す記号がついた部材がありますが、説明書文中では省略しております。
○梱包番号の右側の数字は使用機種を示しています。

1 基礎施工例(参考図)

△注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の状況(基準風速・凍上による不陸など)にあわせて設計・施工してください。

〔単棟型〕基礎図

〔参考図の設計条件〕
地耐力50kN/m²
コンクリート設計基準強度
18kN/m²以上
基準風速34m/s
地表面粗度区分Ⅱ

機種 D Da Db
LOD (U)・1811H 1,196.5 1,076.5 952
LOD (U)・1815H 1,547 1,427 1,302.5

〔連棟型〕基礎図

〔参考図の設計条件〕
地耐力50kN/m²
コンクリート設計基準強度
18kN/m²以上
基準風速34m/s
地表面粗度区分Ⅱ

機種 D Da Db
LOD (U)・1811H 1,196.5 1,076.5 952
LOD (U)・1815H 1,547 1,427 1,302.5

〔単棟型〕基礎図

〔参考図の設計条件〕
地耐力50kN/m²
コンクリート設計基準強度
18kN/m²以上
基準風速34m/s
地表面粗度区分Ⅱ

機種 D Da Db
LOD (U)・1811H 1,196.5 1,076.5 952
LOD (U)・1815H 1,547 1,427 1,302.5

〔連棟型〕基礎図

〔参考図の設計条件〕
地耐力50kN/m²
コンクリート設計基準強度
18kN/m²以上
基準風速34m/s
地表面粗度区分Ⅱ

機種 D Da Db
LOD (U)・1811H 1,196.5 1,076.5 952
LOD (U)・1815H 1,547 1,427 1,302.5

2 水切りの取付け

- ① 〔水切り後〕の両端の孔をアンカーボルトに通して基礎の上に設置します。設置後、下図の通りコーキングします。
- ② 〔水切り側〕も同様に設置します。

〔水切り後〕の両端の孔をアンカーボルトに通して基礎の上に設置します。設置後、下図の通りコーキングします。

〔水切り側〕も同様に設置します。

3 接続金具の取付け(その1)

- ① 〔下枠接続金具前(左右)〕の孔を基礎のアンカーボルトに通し、ワッシャー・ワール・ナット×2で固定します。
- ② 〔下枠接続金具後〕も同様に取付けます。

〔下枠接続金具前(左右)〕の孔を基礎のアンカーボルトに通し、ワッシャー・ワール・ナット×2で固定します。

〔下枠接続金具後〕も同様に取付けます。

3 接続金具の取付け(その2)

④ 金具を固定後、下図の通りコーキングします。

コーキング塗布

金具の立ち上がりが切れている黒塗り部分をコーキングする

コーキング塗布

金具の立ち上がりが切れている黒塗り部分をコーキングする

コーキング塗布

金具の立ち上がりが切れている黒塗り部分をコーキングする

注意 コーキングが不十分だと、雨水等が室内に侵入する恐れがありますのでしっかりと必要箇所に塗布してください。(高さ1cm程度が目安)

注意 市販のアンカーボルトでワール・ナット×2で固定する場合は、アンカーボルト周辺にコーキングを行ってください。

4 下枠の組立

① 〔下枠側〕・〔下枠後〕を接続金具の上から被せて固定します。

ボルト孔位置が合いにくい場合はアンカーボルトを緩めておいてください。
※緩め場合は必ず締め直してください。

下枠側左

※1815型は左右共通です

下枠側右

※1815型は左右共通です

下枠後

※左右共通です

下枠後

※左右共通です

5 柱の組立

① 〔柱前左〕・〔柱後〕を下枠の4隅の切欠きに差し込んでボルト止めします。

② 〔中柱後〕を同様にボルト止めします。

③ 〔中柱前〕の下部に付いている金具のタップに〔アジャスターボルト〕を取り付けます。併せて少し上側のナット2か所にボルト止めします。

④ 中柱前を柱前の高さと揃えて建てます。補足説明ラベルの通り、中柱前下部の△の頂点と布基礎天面の高さを合わせてください。微調整はアジャスターボルトを回して行います。施工後はラベルをはがしてください。

〔柱前左〕・〔柱後〕を下枠の4隅の切欠きに差し込んでボルト止めします。

〔中柱後〕を同様にボルト止めします。

〔中柱前〕の下部に付いている金具のタップに〔アジャスターボルト〕を取り付けます。併せて少し上側のナット2か所にボルト止めします。

中柱前を柱前の高さと揃えて建てます。補足説明ラベルの通り、中柱前下部の△の頂点と布基礎天面の高さを合わせてください。微調整はアジャスターボルトを回して行います。施工後はラベルをはがしてください。

6 上枠中の組立

●連棟の場合のみ

上枠中受け金具後右

上枠中受け金具後左

上枠中受け金具前左

上枠中受け金具前右

上枠中左

上枠中右

中柱後

中柱前

① 中柱前と中柱後の室内側のスリットに、〔上枠中左、中右〕のツメを引掛けて仮固定します。上枠中左と中右は、かみ合わせてください。

② 上枠中と中柱前を、〔上枠中受け金具前右(左)〕ではさんで、ボルト(M8×65)・M8袋ナット・M8ワッシャーで固定します。上枠中と中柱後も同様に固定してください。※一般型と豪雪型とで金具形状およびボルト類使用数異なります。

③ 上枠中の3つ孔に、両側から〔もや取付金具〕をボルト(M6×18)とM6ナット(W13)で取付けます。

上枠中左、中右のかみ合わせ及びもや取付金具の取付け作業を先にて下で行ってからでも施工出来ます。

7 上枠前後の取付け

① 上枠前のツメを柱前左右、中柱前の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。

② 〔上枠後〕のツメを柱後、中柱後の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。

③ 〔豪雪型の場合のみ〕〔上枠前補強〕を室内側から柱前左右、中柱前に載せ、両端部をボルトとナットで固定します。中央部は室外側から上枠前とボルトで固定します。

④ 〔上枠前補強〕を室外側から柱前左右、中柱前に載せ、両端部をボルトとナットで固定します。中央部は室内側から上枠前とボルトで固定します。

8 上枠左右の取付け

① 〔上枠左〕・〔上枠右〕を柱に取付けます。

上枠左

上枠右

上枠中左

上枠中右

中柱後

中柱前

① ツメを上枠中の切欠き部に引っ掛けて仮固定します。

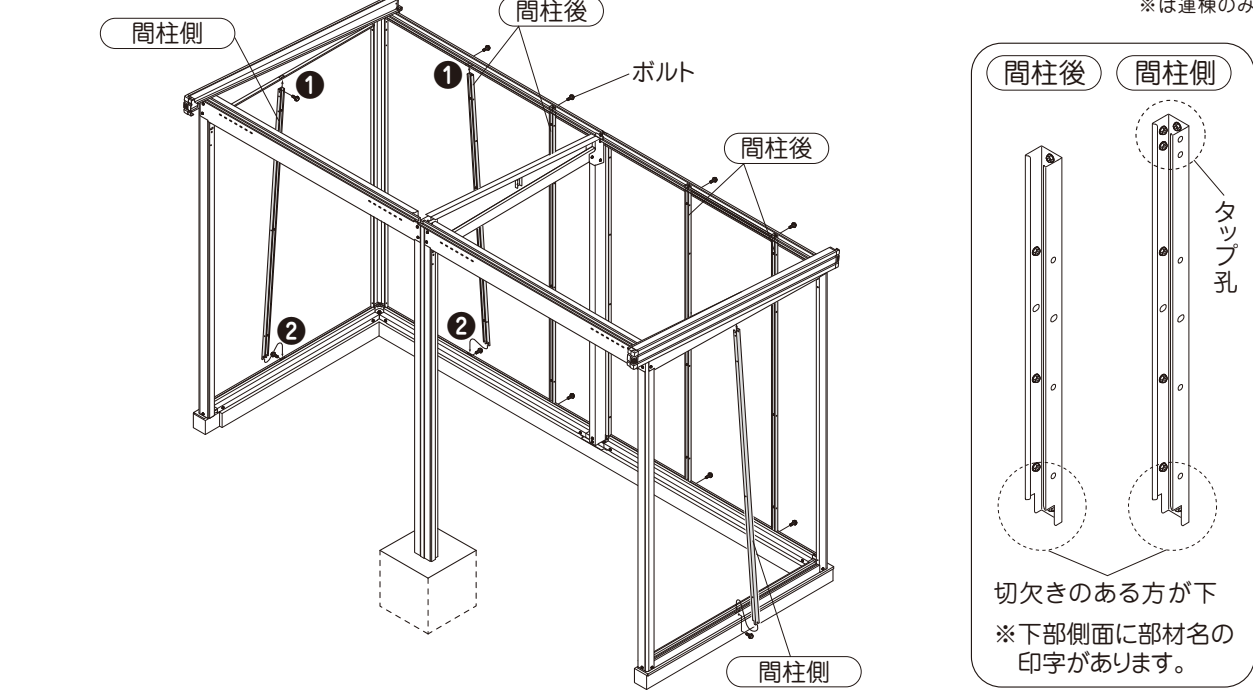
② ツメを上枠中の切欠き部に引っ掛けて仮固定します。

③ ツメを上枠中の切欠き部に引っ掛けて仮固定します。

④ ツメを上枠中の切欠き部に引っ掛けて仮固定します。

9 間柱側・後の取付け

- ① 間柱後 の上端を上枠後に差し込み次に下端を下枠に差し込んでボルト止めします。
- ② 間柱側 も同様に取付けます。



10 屋根連結材の取付け

●連棟の場合のみ

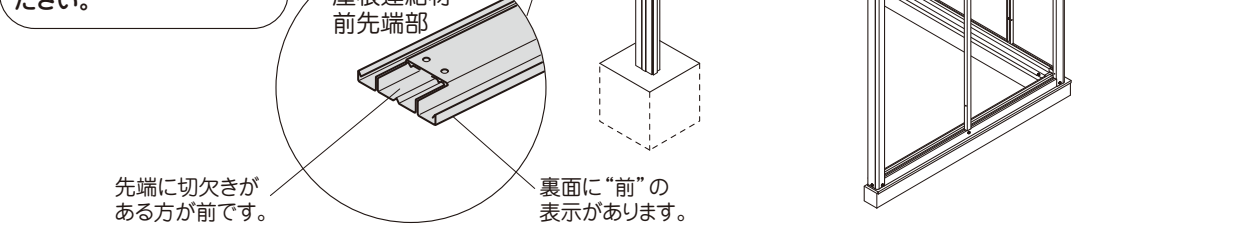
- ① 屋根連結材 を上枠中に取付けます。



電動工具が使いにくい場所をボルト止めしますのでスパナ等を使って手でボルトを締め付けてください。



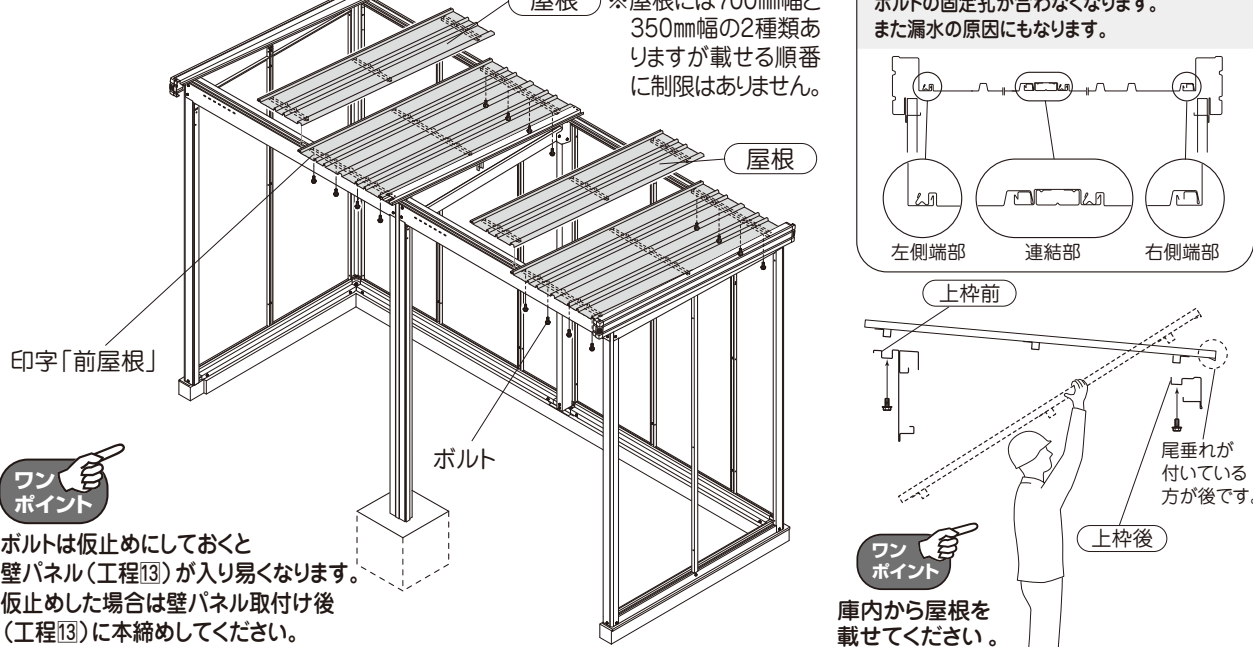
屋根連結材には前後がありますので注意してください。



11 屋根の取付け

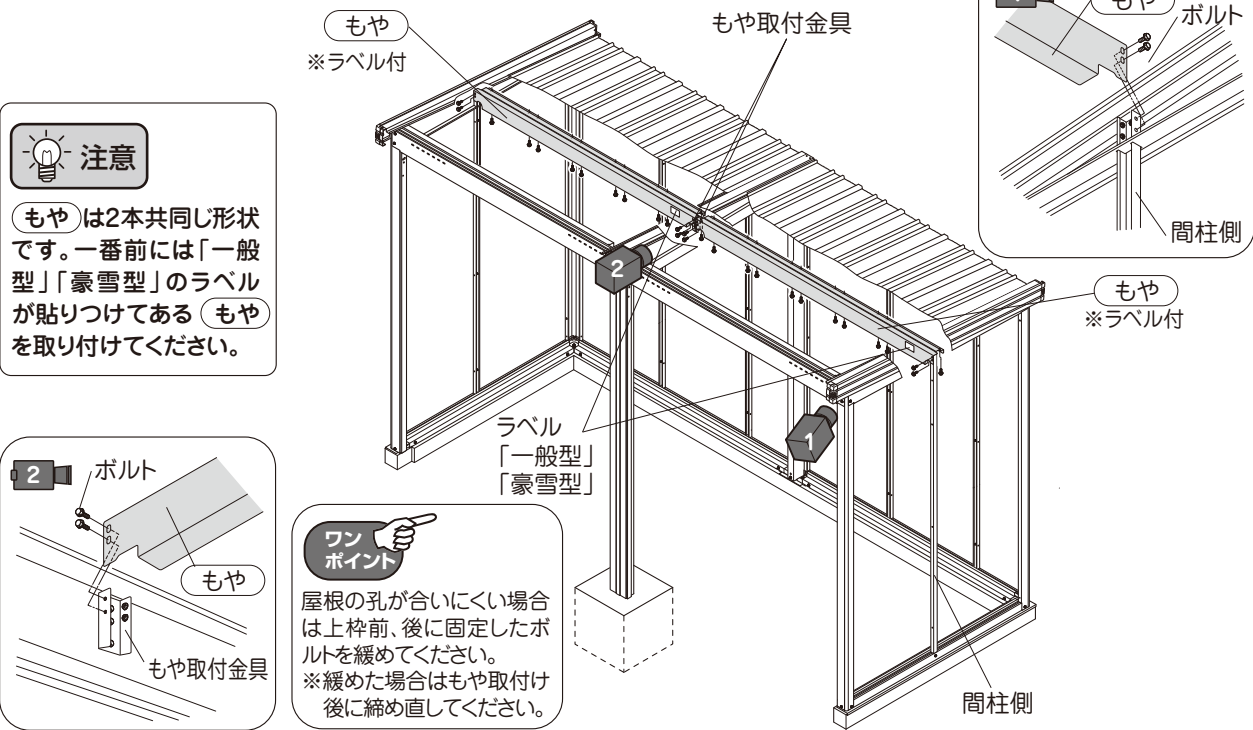
- ① 屋根 を連結部の右側、左側それぞれ右端から順番に載せて上枠前、上枠後にボルト止めします。

※裏面に「⇒前屋根」の印字がある方を前にします。



12 もやの取付け

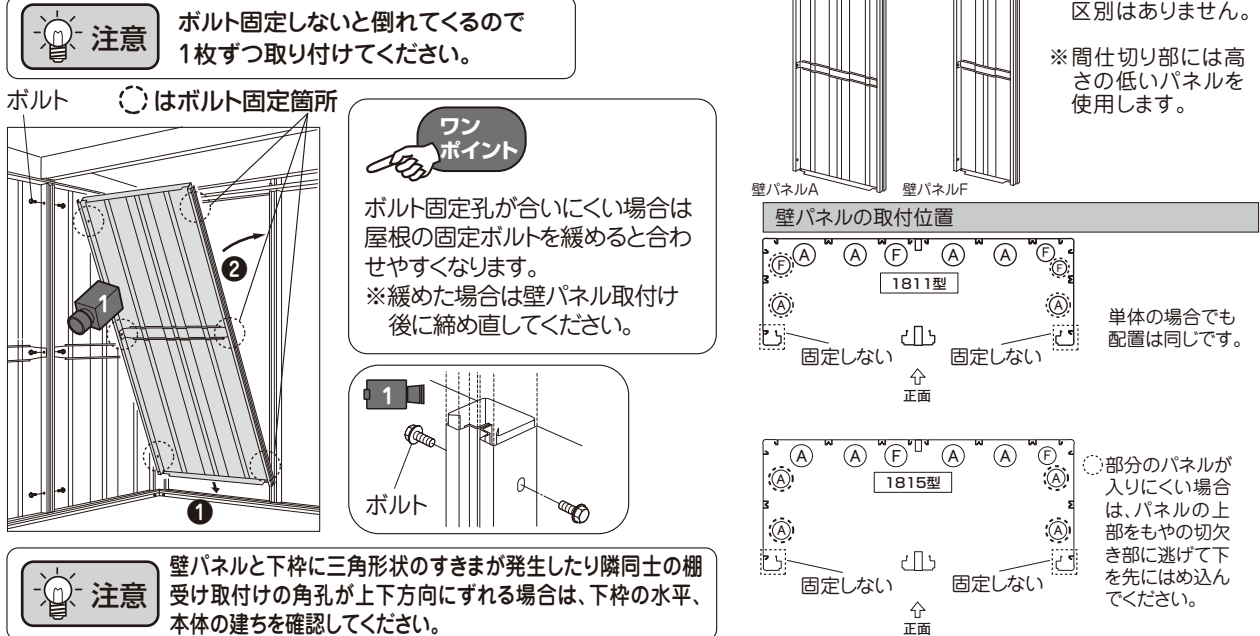
- ① もや を正面から間柱側に載せてボルト止めします。
- ② もや と屋根をボルト止めします。



13 壁パネルの取付け

- ① 室内から 壁パネル をはめ込みます。(下を先に入れて上をはめ込みます。)
- ② 柱・間柱にボルト止めします。

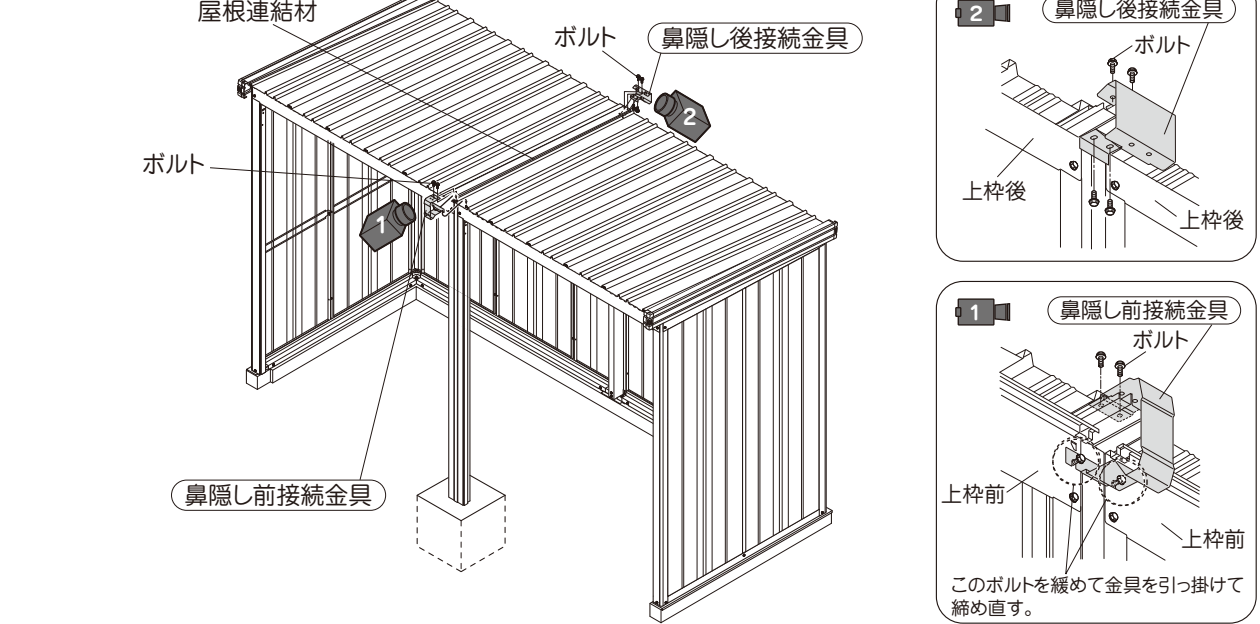
※柱左右とはボルト止めしません(工程20で固定します)。



14 鼻隠し接続金具の取付け

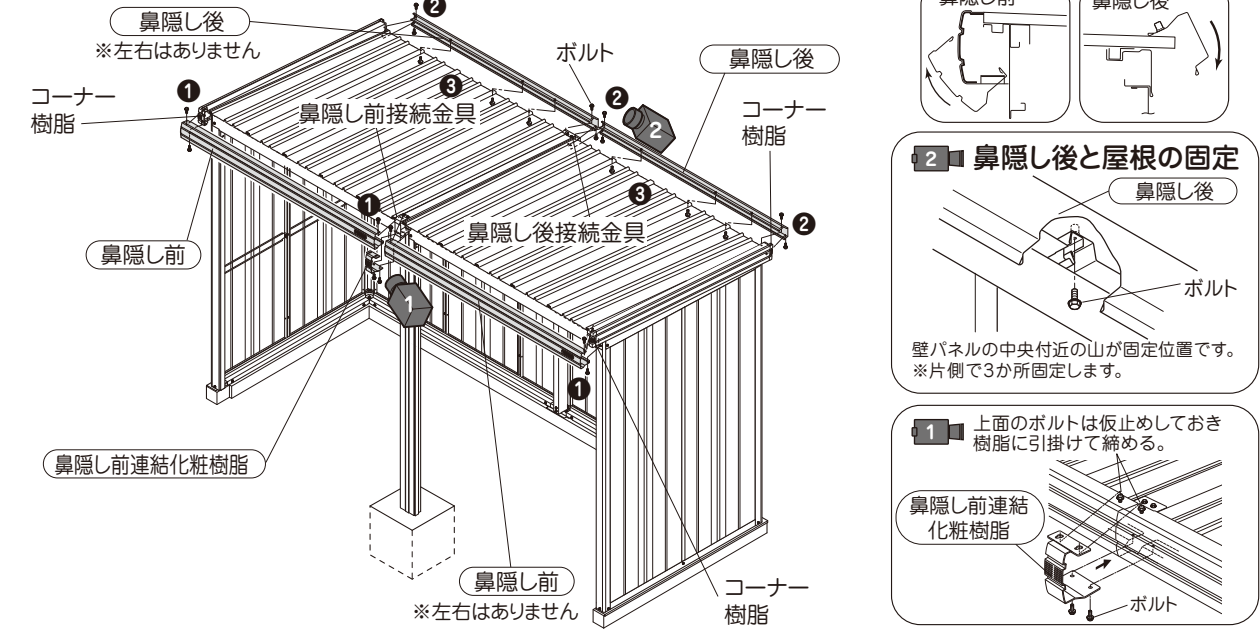
●連棟の場合のみ

- ① 鼻隠し前接続金具 を屋根連結材の前端部と上枠前にボルト止めします。上枠前のボルトは一旦ゆるめて鼻隠し前接続金具の下部切欠きをひっかけてボルトを締め直します。
- ② 鼻隠し後接続金具 を屋根連結材の後端部にボルト止めします。



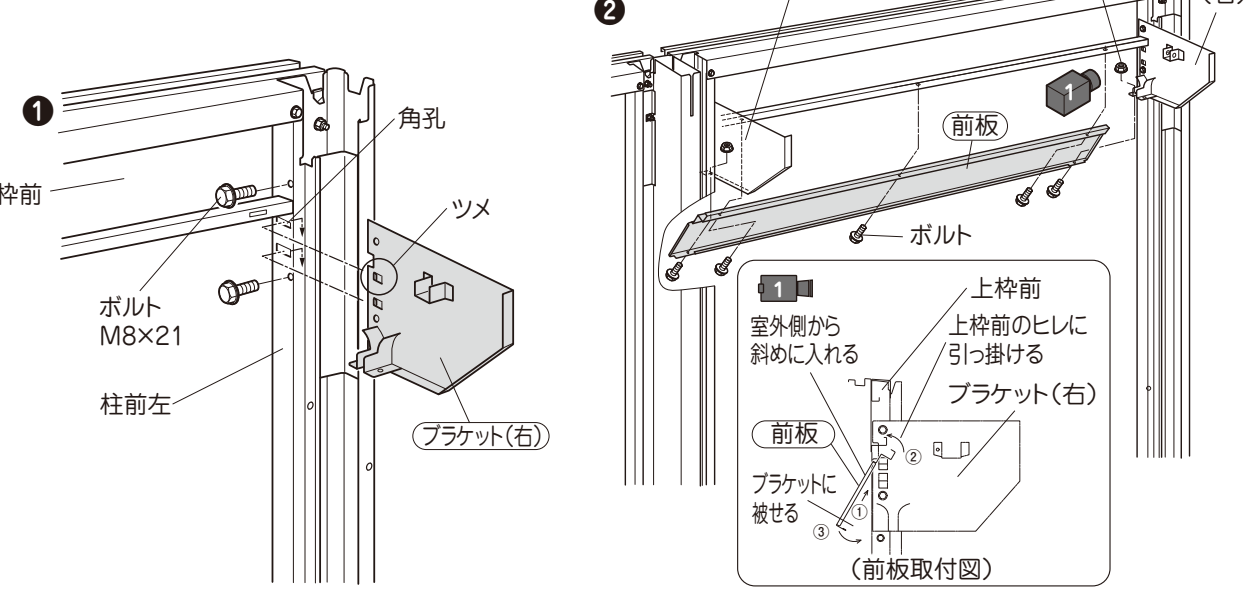
15 鼻隠しの取付け

- ① 鼻隠し前 をコーナー樹脂、鼻隠し前接続金具にかがせるように取付けボルト止めします。
- ② 鼻隠し後 をコーナー樹脂、鼻隠し後接続金具にかがせるように取付けボルト止めします。
- ③ 鼻隠し後 と屋根をボルト止めします。



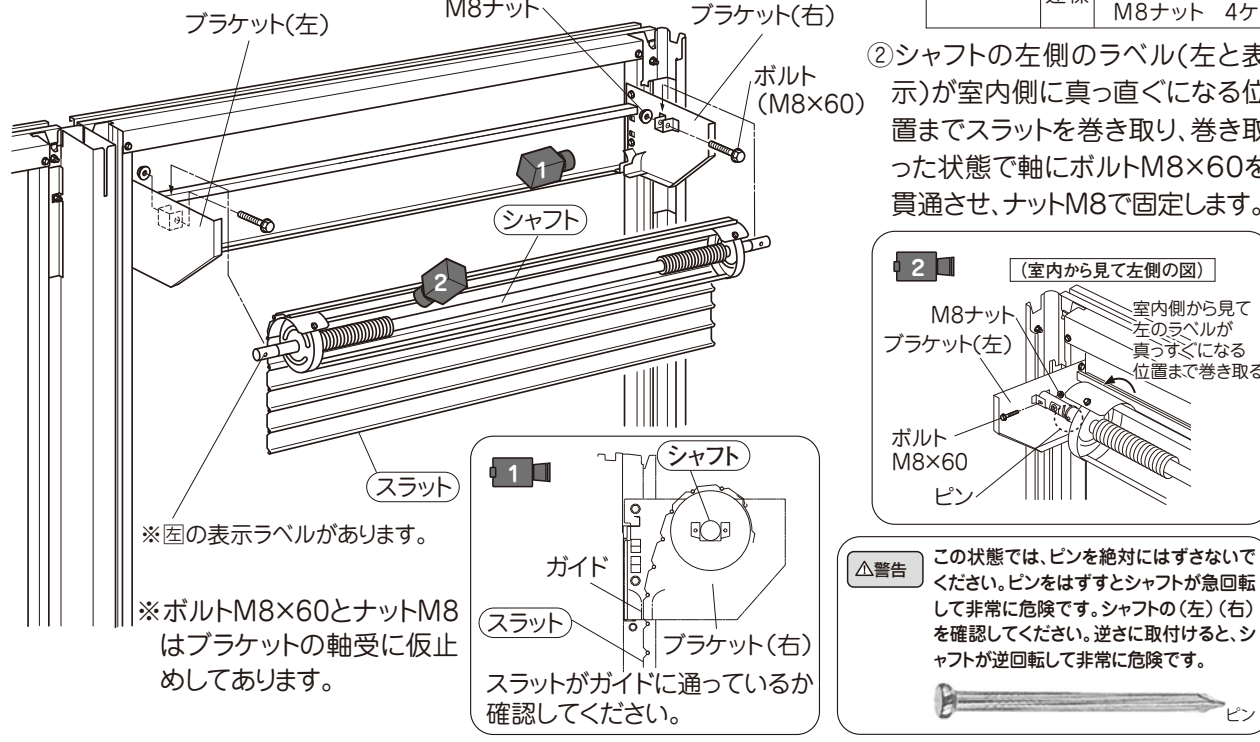
16 ブラケット・前板の取付け

- ① ブラケット左右 のツメを柱前左右、中柱前の角孔部に引っ掛けてボルト止めします。
- ② 前板 を下図のように室外側から斜めに入れ、上部は上枠前に引っ掛けてボルト止めします。下部はブラケットにかがせてボルトとナットで固定します。



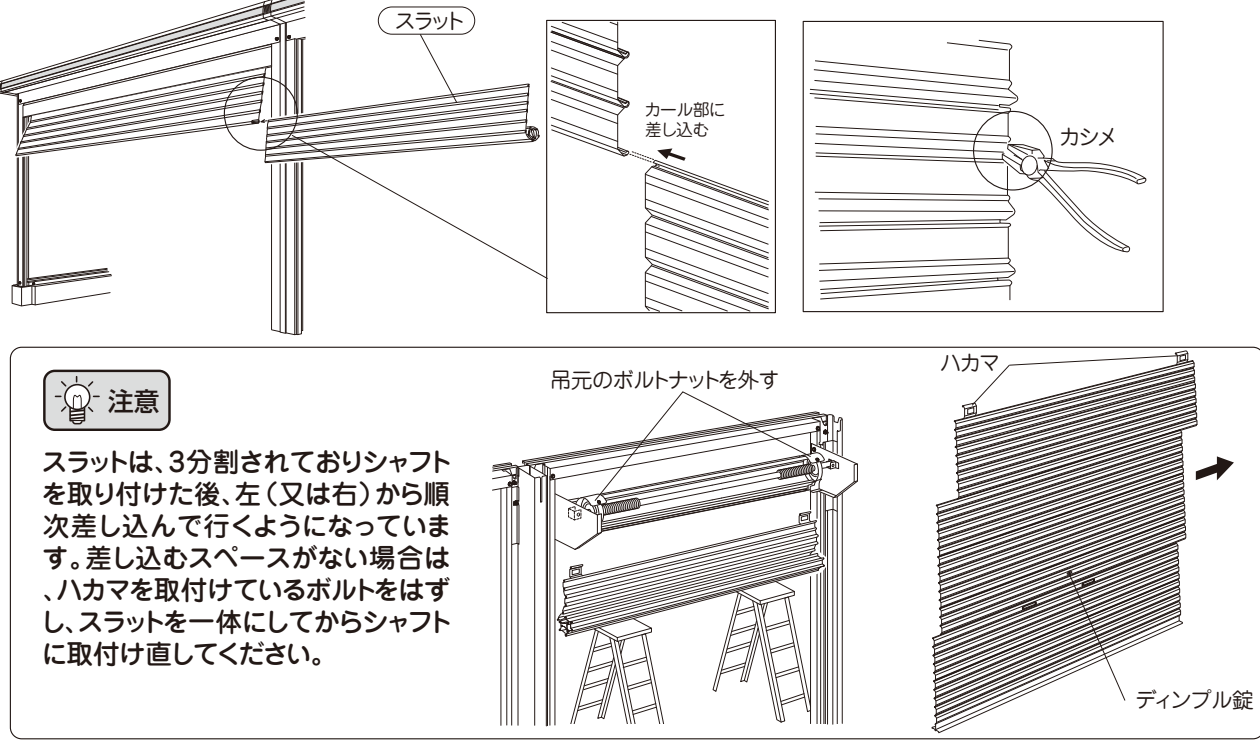
17 シャフトの取付け

- ① 室内側から シャフト を軸受に載せ、(スラット)をブラケットのガイドに通します。(先にスラットをガイドに通してから軸受に載せても施工出来ます)

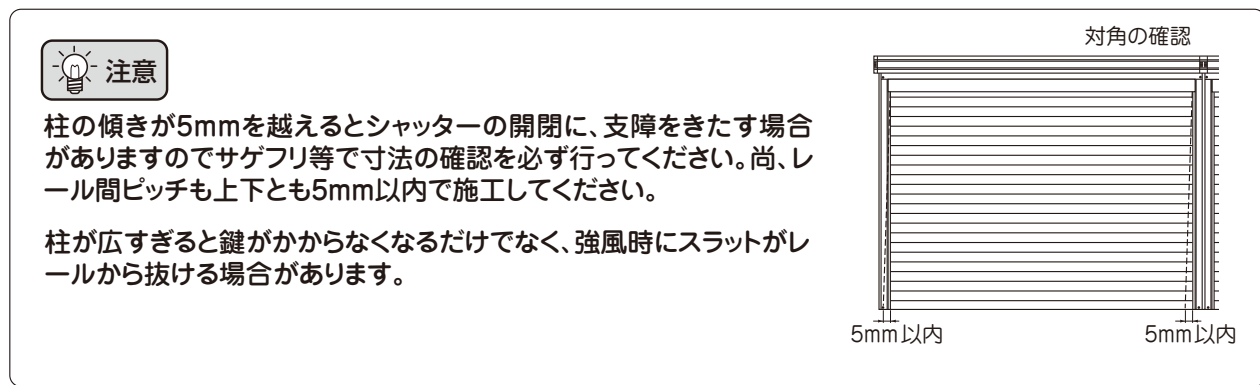


18 シャッタースラットの取付け

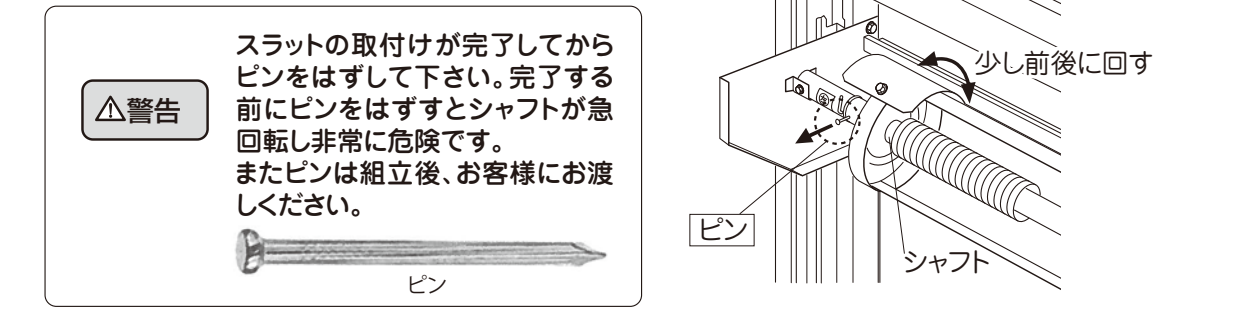
- ① 上から 外錠付スラット → 水切り付スラット の順に室外側から差し込み、縦ぎ目の両端をベンチ等でかきめて固定します。



- ② スラットをおろし柱とゆがみがないか確認してください。



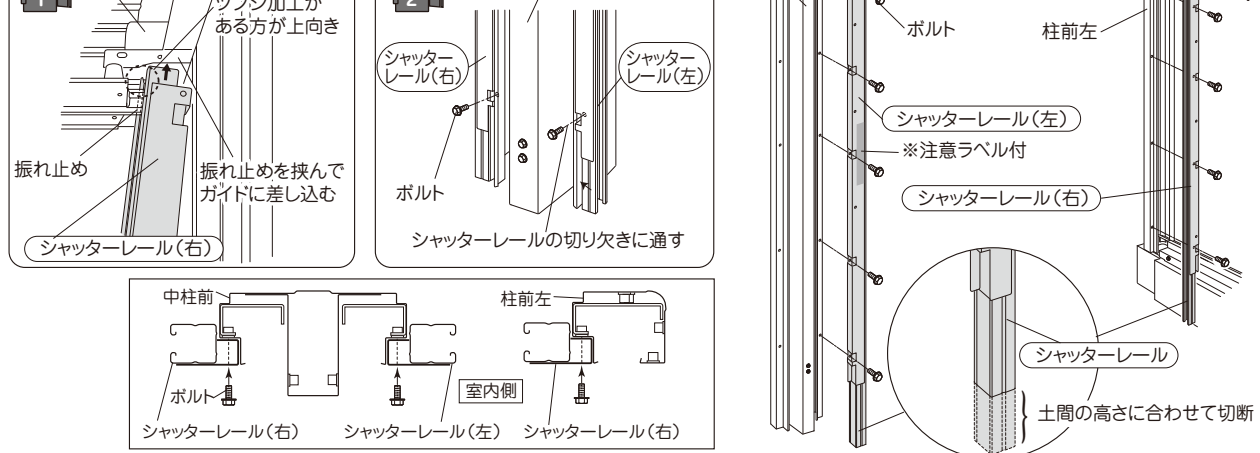
- ③ スラットをおろした状態でシャフトを少し回転させ、写真のピンを抜きとります。



19 シャッターレールの取付け

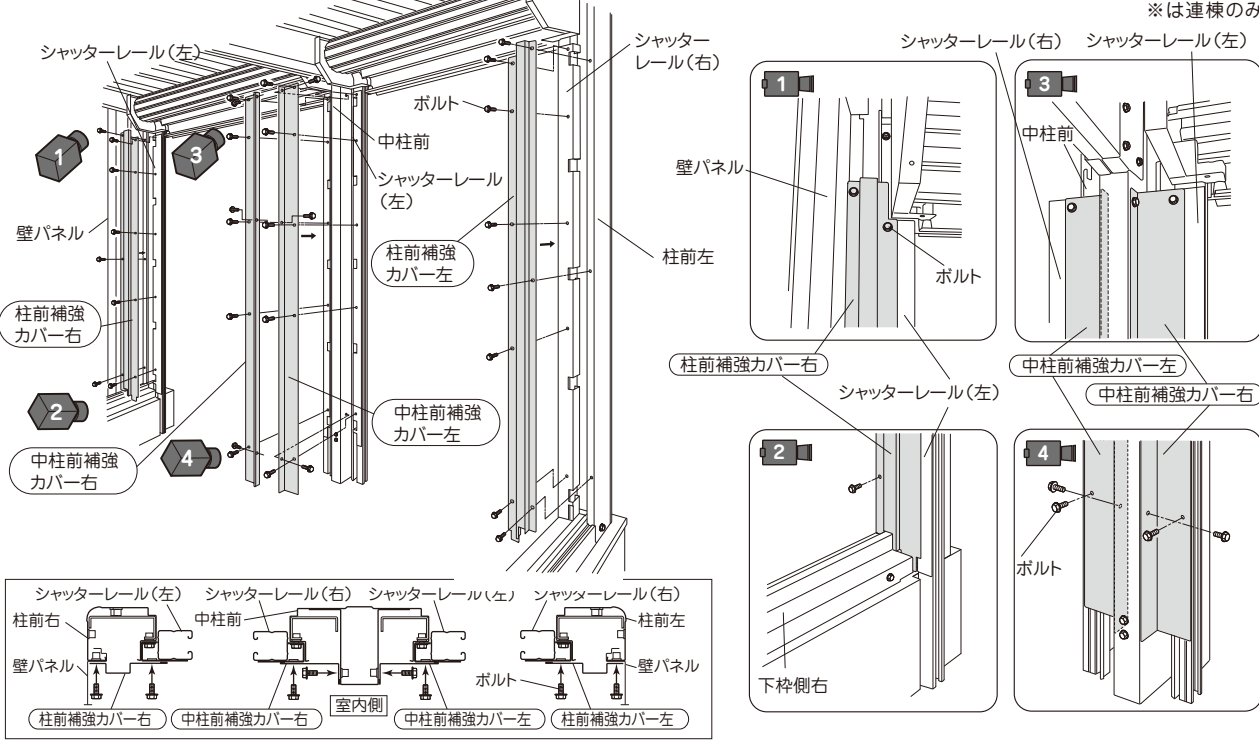
- ① スラットをブラケットのガイドに通しながら巻き上げます。
- ② シャッターレール の下端を土間の高さに合わせて切断します。
- ③ シャッターレール の上部(つづき加工あり)をブラケットのガイドに差し込み、下の断面図のように柱に沿わせてボルト止めします。

※シャッターレール左に貼ってある注意ラベルが正しく表示されているか確認してください。



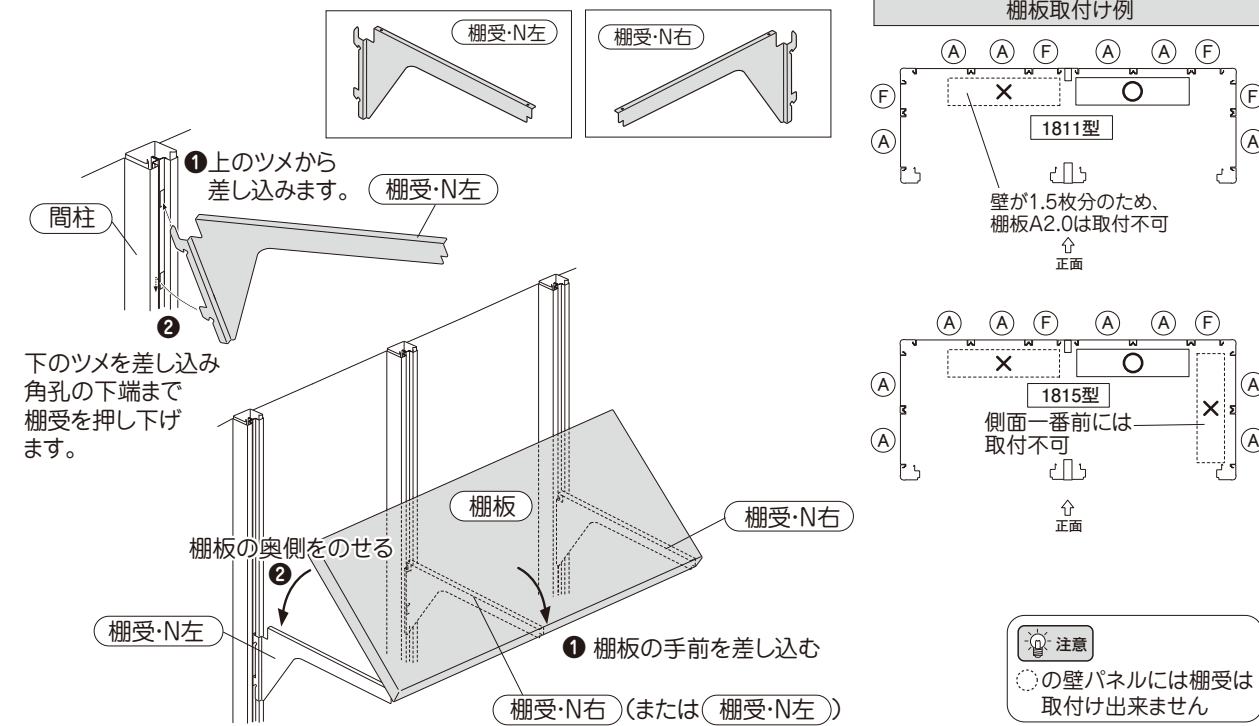
20 柱前補強カバーの取付け

- ① 柱前補強カバー左右 を柱前とシャッターレールに下図のようにかがせてボルト止めします。
- ② 連棟のみ 中柱前補強カバー左右 を中柱前に下図のようにかがせてボルト止めします。



21 棚板の取付け

- ① 棚受 を図の様に壁パネルの角孔に差し込みます。
- ② 棚板 を棚受の先端に差し込んでから取付けます。(標準で棚板A2.0が2枚付いています。)



22 その他部品の取付け

- ① シャッターレール(左)の注意ラベルに「機種名」を記入します。
- ② 屋根隙間隠しA を上枠後の屋根の重ね部に、(屋根隙間隠しB)を上枠後の屋根と上枠右の重ね部に取付けます。
- ③ SHレール補強金具左右 を下枠側の前部にボルト止めします。
- ④ 下枠隙間隠し左右 を上から被せてボルト止めします。

- ⑤ 中柱前の基礎をモルタルで埋め、(SHレール補強金具左右)を土間高さに合わせてテックス止めします。(レールに当てる部分の長孔1個は使用しません)。
- ⑥ 下枠隙間隠し中 左右 を上から被せてボルト止めします。

